

第 110 回 FM 桐生番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和 7 年 1 月 14 日 火曜日
2. 開催場所 FM 桐生 3 階会議室（桐生市本町 5 丁目 365-1）
3. 委員総数 8 名
出席委員数 7 名
出席委員の氏名 板橋英之、岡野紀子、小泉充、中村昌也、飯野マリエ、
大澤善康、星野麻実
欠席委員の氏名 豊田れい子
放送事業者側出席者名 坂田道信、天路ひとみ

4. 議題（1）聴取番組について委員からの意見と提案

5. 議事の概要

開会

挨拶

資料配布物の確認

次第・次回聴取番組 CD 『妄想テックラボ』（令和 7 年 1 月 12 日（日） 放送分）

報告事項

- ・新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症の動向など
- ・12 月終了した他局制作番組の説明
- ・4 月改編について

次回開催日程 令和 7 年 3 月 18 日（火） 19 時～

6. 審議内容

- ・放送日時：令和 6 年 11 月 10 日（日）10 時 30 分～10 時 59 分
- ・番組名：『住教育ラジオ』
- ・放送形態：収録
- ・番組内容：住教育をテーマに、家づくりや暮らしについて楽しく学ぶラジオ番組です。
自分らしい暮らしや価値観を大切にしたいあなたへ、
暮らしの選択肢を広げるためのヒントやアイデアを幅広くお届けします。
日々の生活をより豊かにするための情報が満載の幸せな暮らしが見つかる
ラジオです。
- ・出演者：古市伸一郎 村田智仁

（1）聴取番組について、委員からの意見

【委員】

- ・全体的に落ち着いたトーンで聞きやすかった。
- ・内容も桐生の旧市街地が抱える問題(リノベーション、独居老人など)だったので興味深く拝聴できた。
- ・終始落ち着いた雰囲気であって終わったので、途中で曲が入ると良いと感じた。
- ・コミュニティの話だったので、とても為になった。
- ・コミュニティ作りのヒントを得られる番組。
- ・今回は男性の番組で落ち着いていて、声もゆっくりなので聞きやすかった。
- ・早口だと分かりづらくなってしまいうような内容なので、あえてゆっくり話しているようにも感じた。
- ・自然と引き込まれてとても聞きやすく、分かりやすかった。
- ・興味を持つことができる番組だった。
- ・男性の声は沈んで聞こえてしまうことが多いが、この番組は声が聞きやすくとても分かりやすかった。
- ・話の内容も教育テレビ番組のようで、硬くならず静かに聞くことができたのでつい、聞き入ってしまった。
- ・ながらで聞いていたからか、地元の情報ではなかったもので、当事者意識を持って聞くのが難しかった。
- ・コミュニティの話をしていたようですが、住教育がテーマであれば話をされている舞台がどこだったのか分かりやすく話してほしかった。
- ・個人的には、テーマについてももう少し早めに言って欲しかった。
- ・『ひとたまり』という言葉が耳に残った。
- ・地元桐生ではないところの活動でしたが、分かりやすく聞くことができた。
- ・訛りも新鮮だった。
- ・本人は気がついていないかも知れないが、口癖が気になった。
- ・次回も聴きたくなる内容だった。
- ・イントロの部分で村田さんの声が少しだけこもっていたような感じがした。
- ・関心があるテーマで良い番組だと思った。

【回答】

- ・熊本で収録をしているので地元桐生の内容ではないが、地域が抱えている問題には共通点があり参考になる。
- ・Shelfs(コミュニティ放送専用デジタルオーディオアプリ)対応番組

【その他】

- ・桐生タイムスの「なんでもダイヤル」コーナーに「市長さんいらっしゃい」を聞いています。」という投書がありました。ライドシェアが電話予約できるのは良いが、堀マラソンがネット予約しかできないのは不便という意見。

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社番組内での紹介、事務所への備置き、

自社ホームページ <http://www.fmkiryu.jp/>へ掲載

公表の内容 この書類と同様

公表年月日 送付日と同日

8. その他参考事項 特になし